

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4~9月実績、10月~12月見通し)

		4-6月計	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	7-9月計	上期計	10月(予測)	11月(予測)	12月(予測)	10-12月	
2024年度	国内	空路	1,719,900	689,700	766,100	633,000	2,088,800	3,808,700	693,000	620,000	596,000	1,909,000
		海路	12,600	2,600	2,400	1,800	6,800	19,400	4,000	3,400	11,300	18,700
		合計	1,732,500	692,300	768,500	634,800	2,095,600	3,828,100	697,000	623,400	607,300	1,927,700
	海外	空路	339,900	130,700	130,800	125,500	387,000	726,900	132,000	128,000	135,000	395,000
		海路	138,300	89,000	100,700	70,700	260,400	398,700	68,000	57,000	112,000	237,000
		合計	478,200	219,700	231,500	196,200	647,400	1,125,600	200,000	185,000	247,000	632,000
国内・海外合計		2,210,700	912,000	1,000,000	831,000	2,743,000	4,953,700	897,000	808,400	854,300	2,559,700	
前年度比	国内	空路	98.7%	105.3%	121.9%	105.6%	110.9%	105.0%	103.8%	104.1%	105.2%	104.3%
		海路	60.3%	29.9%	68.6%	47.4%	42.5%	52.6%	75.5%	200.0%	226.0%	155.8%
		合計	98.2%	104.3%	121.6%	105.2%	110.3%	104.5%	103.6%	104.4%	106.3%	104.7%
	海外	空路	177.4%	162.8%	182.7%	157.7%	167.2%	171.8%	167.3%	165.2%	151.7%	161.0%
		海路	609.3%	255.0%	406.0%	261.9%	300.3%	364.4%	186.3%	419.1%	1806.5%	421.0%
		合計	223.1%	190.7%	240.1%	184.1%	203.5%	211.4%	173.3%	203.1%	259.5%	209.5%
国内・海外合計		111.7%	117.1%	137.2%	117.0%	123.7%	118.1%	113.8%	117.5%	128.1%	119.4%	
19年度比	国内	空路	100.1%	105.5%	104.1%	107.4%	105.5%	103.0%	112.6%	104.0%	105.3%	107.4%
		海路	64.9%	37.7%	100.0%	138.5%	64.2%	64.7%	71.4%	85.0%	168.7%	114.7%
		合計	99.7%	104.8%	104.1%	107.5%	105.3%	102.7%	112.3%	103.9%	106.0%	107.5%
	海外	空路	70.8%	75.1%	87.2%	103.9%	87.0%	78.6%	107.2%	130.7%	128.6%	121.2%
		海路	41.1%	69.1%	75.8%	72.2%	72.4%	57.3%	63.3%	56.3%	144.7%	82.9%
		合計	58.5%	72.6%	81.8%	89.7%	80.5%	69.4%	86.8%	92.9%	135.4%	103.3%
国内・海外合計		86.5%	94.6%	97.9%	102.7%	98.2%	92.6%	105.4%	101.2%	113.1%	106.4%	

(概況)

空路は国内・海外ともに、前年と比べ、需要が堅調に推移している。

国内入域について、好調な旅行マインドに支えられ東京・大阪などの幹線を中心に需要が堅調に推移している。

海外入域について、空路は台北、韓国仁川、香港路線の需要が引き続き堅調に推移している。中国路線の予約率も改善傾向にある。増便や新規なども予定されており、今後も順調に伸びていくことが予想される。

海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。とくに11月から大型船MSCベリッシマの那覇発着クルーズが予定されており、2019年と比較して国内客約7割、海外客約5割の増加となる見込み。

		暦年計	
2024年	国内	空路	7,473,400
		海路	46,600
		合計	7,520,000
	海外	空路	1,402,000
		海路	781,000
		合計	2,183,000
国内・海外合計		9,703,000	
23年比	国内	空路	103.9%
		海路	86.1%
		合計	103.7%
	海外	空路	173.6%
		海路	436.8%
		合計	221.3%
国内・海外合計		117.8%	
19年比	国内	空路	104.2%
		海路	75.8%
		合計	104.0%
	海外	空路	83.3%
		海路	62.6%
		合計	74.5%
国内・海外合計		95.5%	

2024年暦年の入域客数予測は、970万人の見込み

2024年1月~12月までの入域客数は、970万人の見込みで、過去最高年であった2019年の1,016万人に迫る勢いで回復している。

国内客の前年比は103.7%と全国旅行支援等があった2023年よりも、多くの観光客が沖縄に訪れていることがわかる。海外客の前年比は221.3%と2024年に入り、国際線復便・新規就航が多かったことから好調に推移している。国内・海外合計でも、117.8%と前年を大幅に上回ると想定される。

一方で、2019年と比較すると、国内客は104%と好調に推移している一方で、海外客は74.5%と、暦年過去最高人数であった2019年並みには回復はしていない。国際線の復便・新規就航は多かったものの、中国路線やアジア諸国への直行便の就航が回復に向けた課題となっている。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（10月～12月見通し）

10月

国内

(空路) 69.3万人（23年10月対比103.8%）と見込む。(海路) 入域客数は4千人（23年10月対比 75.5%）となる見通し。
国内クルーズは4回寄港予定。（東京・横浜・福岡など）

海外

(空路) 13.2万人（23年10月対比167.3%）となる見通し。

台北＝那覇路線

◆中華航空：10月28日（火）週4便（月・火・木・土）からデイリー運航へ増便

釜山＝那覇路線

◆チェジュ航空：10月27日（日）新規就航（火・木・土） → 運航中止

◆中国東方航空

上海＝那覇路線 10月27日（日）1日2便から1便へ減便

(海路) 6.8万人（23年10月対比186.3%）となる見通し。台湾（基隆）や香港、中国（上海・蛇口・南沙）などから17回寄港予定。
うち5回は石垣港のみ寄港。

11月

国内

(空路) 62万人（23年11月対比104.1%）と見込む。(海路) 3.4千人（23年11月対比200%）となる見通し。

国内クルーズは3回寄港予定。（東京・那覇）

海外

(空路) 12.8万人（23年11月対比 165.2%）となる見通し。

タイ＝那覇路線 ※台北経由

◆バトジェットタイランド航空：11月2日（土）新規就航（デイリー）

(海路) 5.7万人（23年11月対比419.1%）となる見通し。台湾（高雄）、中国（上海・蛇口・南沙）、香港、韓国（釜山）などから11回寄港予定。
うち5回は石垣港のみ寄港。

12月

国内

(空路) 59.6万人（23年12月対比 105.2%）と見込む。(海路) 1.1万人（23年12月対比 226%）の見通し。

国内クルーズは10回寄港予定。（東京、那覇）

海外

(空路) 13.5万人（23年12月対比 151.7%）となる見通し。

台中＝那覇路線

◆スターラックス航空：12月2日（月）新規就航（月・火・木・土）

釜山＝那覇路線

◆イースター航空：12月19日（木）新規就航（デイリー）

(海路) 11.2万人（23年12月対比1806.5%）となる見通し。中国（上海・蛇口）や香港、台湾（基隆）、韓国（釜山）などから、14回寄港予定。
うち4回は石垣港のみ寄港。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

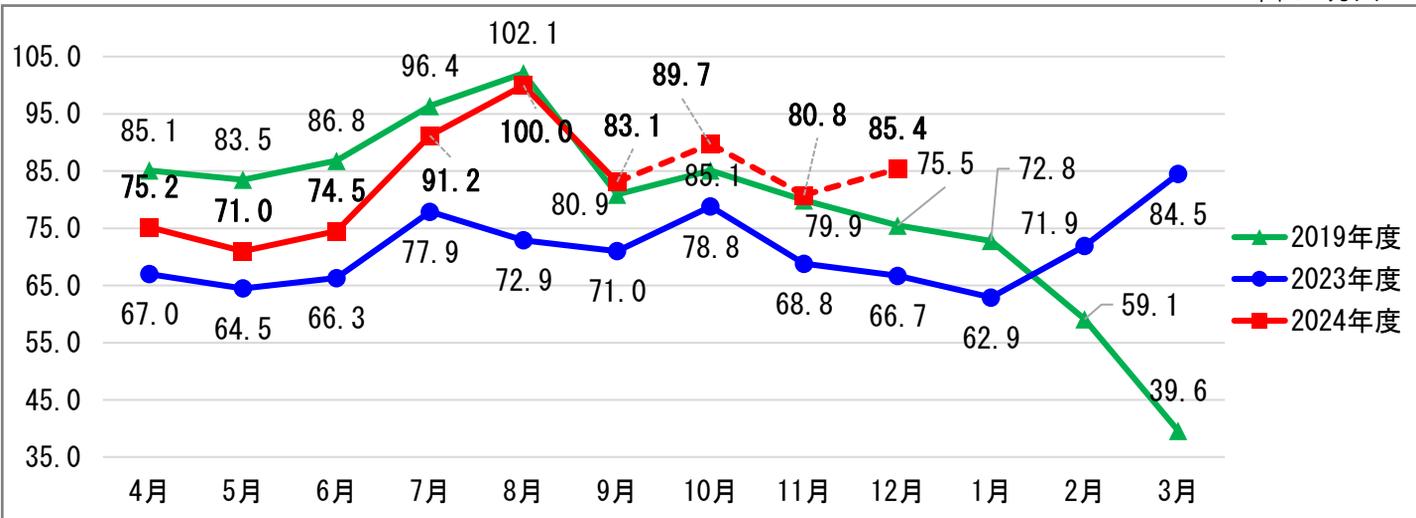
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4~7月実績、8月~10月見通し) グラフ

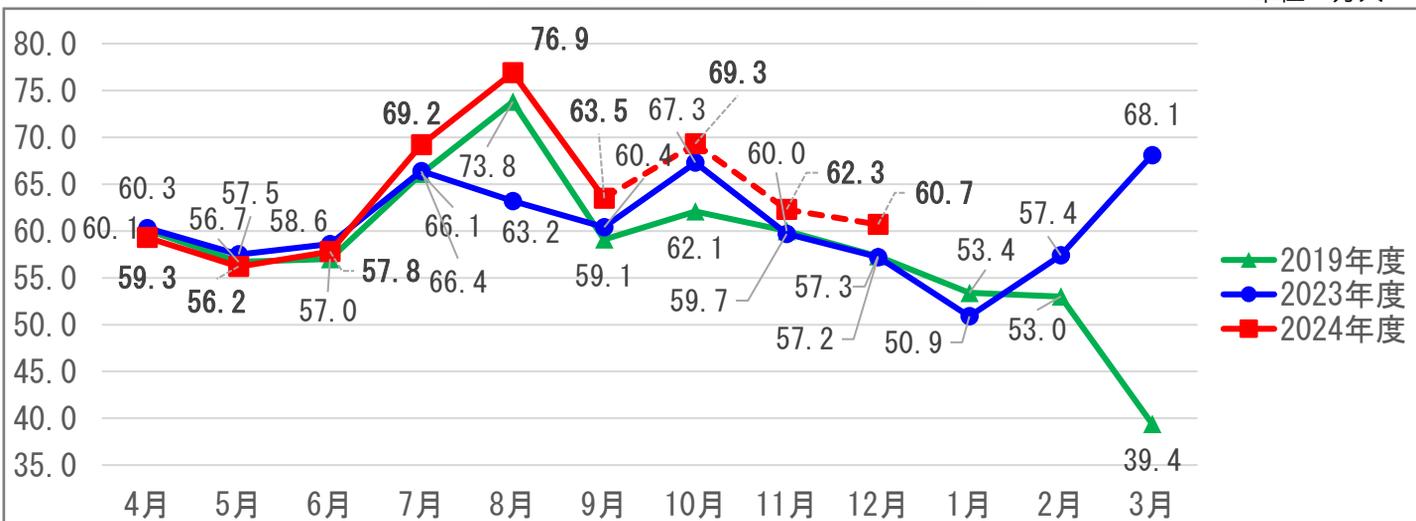
入域観光客 (国内・海外合計)

単位：万人



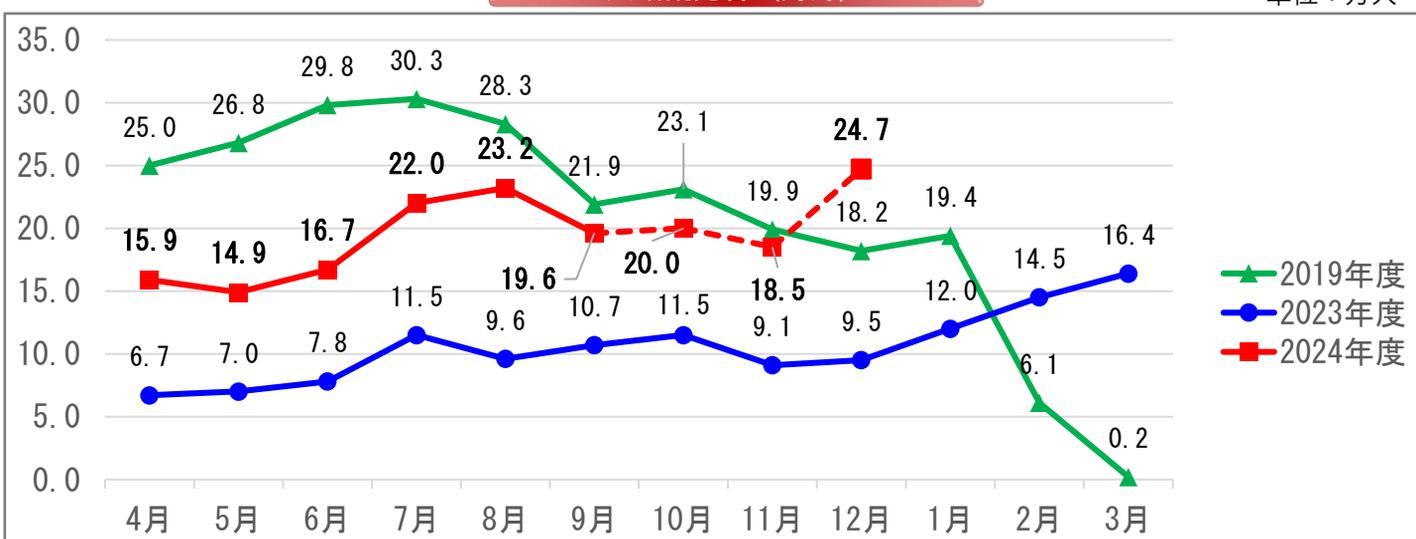
入域観光客 (国内)

単位：万人



入域観光客 (海外)

単位：万人



①入域観光客数概況

1.空路国内線経由外国人入域概況（24年度上期 推計値）

地域別	2024年度上期		2023年度上期		主要国
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	85,680	51%	69,000	52%	アメリカ・カナダ
ヨーロッパ	33,600	20%	24,000	18%	イギリス・ドイツ・フランス・スイス・イタリア・スペイン・ロシア
アジア	20,160	12%	19,000	14%	中国・香港・台湾・韓国・ASEAN・インド
オセアニア	5,040	3%	3,000	2%	ニュージーランド・オーストラリア
中米/南米	1,680	1%	1,000	1%	ブラジル・メキシコ
その他	21,840	13%	17,000	13%	
合計	168,000	100%	133,000	100%	

データ推計は、航空会社へのヒヤリングを実施しOCVBにて推計値を算出。主に海外で購入された日本国内線航空券などを参照しているため、国籍を明確に分類したものではない。

（概況）

空路国内線経由外国人入域について、2024年度上期の推計値は約168,000人となり、2023年度と比較すると約3.5万人増となった。

地域別シェアでは北米（米国・カナダ）が最も多く51%、続いてヨーロッパが20%と続く。欧米だけで全体の約7割を占め、空路国内線経由で多くの欧米客が沖縄へ入域していることが推測される。

②県内ホテル客室・レンタカー単価概況

2. 県内ホテル客室単価概況（24年上期実績および10月～12月見通し）
(1客室あたり単価)

ホテル区分	実績		見通し					
	上期平均	前年度比	10月	前年度比	11月	前年度比	12月	前年度比
本島リゾート	¥37,647	104.2%	¥28,407	102.9%	¥25,082	101.2%	¥27,450	101.7%
離島リゾート	¥31,645	95.2%	¥24,669	92.7%	¥24,772	109.9%	¥23,445	94.8%
シティホテル	¥15,916	105.6%	¥13,971	105.0%	¥14,291	106.0%	¥16,048	116.0%

(OCVB独自調査)

※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

(概況)

昨年度は、全国旅行支援や旺盛な旅行マインドにより単価は高くなっていた。

2024年度上期平均ならびに10月～12月の見通しにおいて、離島リゾートの単価が弱い傾向にあるものの、本島リゾート、シティホテルの単価は前年度を上回っている。

(県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査)

3. 県内レンタカー単価概況（24年上期実績および10月～12月見通し）

実績			見通し								
上期平均	前年度比	19年度比	10月	前年度比	19年度比	11月	前年度比	19年度比	12月	前年度比	19年度比
¥23,767	83.1%	212.6%	¥20,011	88.9%	223.6%	¥18,998	86.4%	240.2%	¥20,818	89.1%	216.1%

※上記、レンタカー単価実績および見通しのOTAからのヒアリングによるOCVB独自調査（平均値）単価については、1日当たりではなく予約1件当たりの単価。

(概況)

2024年度上期の県内レンタカー単価実績については、昨年度比で83.1%となった。2023年度は台数不足による価格高騰となったが、23年度の車両台数が過去最高と供給が増えた。2024年度はレンタカー協会に加盟している会員の価格は安定している。10月から12月の見通しについては、前年を下回る水準となる見通し。

(OTAおよび沖縄県レンタカー協会へのヒアリングによるOCVB独自調査)

沖縄修学旅行の動向と今後の取組について

県外にて沖縄修学旅行プロモーションを実施

「令和6年度教育旅行推進強化事業 誘客プロモーション」の一環として県外にて修学旅行説明会、セミナーを実施しました。学校関係者、旅行会社等に参加いただき、航空会社や実施校によるプレゼンテーションによる最新の情報発信等を行いました。12月には兵庫での開催を予定しています。

- ・**東京開催** 令和6年8月22日/東京交通会館
出展企業数27団体 参加者数86名
- ・**長野開催** 令和6年9月19日/ホテルメトロポリタン長野
出展企業数9団体 参加者数38名
- ・**兵庫開催** 令和6年12月19日/三宮研修センター
出展企業数17団体



令和6年度沖縄修学旅行相談会in東京



令和6年度沖縄修学旅行セミナーin長野

海外からの教育旅行も増加傾向に

昨年度より台湾・香港を中心とした海外からの教育旅行の問い合わせが急増しており、県内学校との交流体験を目的としたマッチングをおこなっております。引き続き、JNTOや沖縄県海外事務所等と連携した取り組みを実施いたします。

- ・**R5実績**
台湾9校、香港8校 計426名
- ・**R6実績・予定** (10月30日時点)
台湾2校、香港7校 計353名



香港の学生と興南学園アクト部の交流の様子

秋口の貸切バス運転手不足問題について

毎年の課題となっている10月~12月にかけての貸切観光バス運転手不足を受け、沖縄県が実施する各種取り組みについて、当財団も連携・協力しております。

- ・**修学旅行貸切バス等受入体制緊急支援事業**
県外から乗務員等を受け入れる貸切バス事業者に対する渡航費、滞在費等の支援
- ・**沖縄県貸切バス受入体制支援室の設置**
バスの乗務員不足を解消するため、県外からの人材確保を担うために発足
- ・**修学旅行需要分散化支援事業 (OCVB受託事業)**
修学旅行の行程における訪問場所や時間帯、交通手段の変更等による需要の分散化を図る支援

沖縄県修学旅行バス未手配状況

64台 (10月21日時点) ※沖縄県貸切バス受入体制支援室調査

沖縄修学旅行の入込見込み (2024年10月8日時点 回答数8/15社)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対H30年度比
H30	26,033 (218)	54,779 (429)	34,575 (217)	3,253 (27)	37 (1)	11,698 (67)	80,400 (382)	85,195 (389)	71,947 (386)	24,641 (122)	15,738 (104)	15,185 (86)	423,481 (2,428)	
R5	14,750 (113)	37,324 (287)	26,245 (161)	2,909 (23)	165 (4)	6,802 (40)	64,998 (316)	80,797 (362)	50,816 (273)	14,175 (81)	16,856 (95)	11,603 (67)	327,440 (1,822)	77% (75%)
R6	18,916 (140)	44,618 (336)	30,894 (198)	2,900 (23)	245 (4)	12,256 (54)	62,493 (307)	69,384 (311)	52,402 (275)	17,987 (93)	18,459 (93)	11,872 (72)	342,426 (1,906)	81% (79%)

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課 担当：山城、比嘉
TEL:098-859-6129 FAX:098-859-6221

「長野県観光商談会・教育旅行商談会in沖縄」開催

沖縄県は長野県と「長野県及び沖縄県の交流連携に関する協定」を締結しており（2023年3月）、観光を切り口とした取り組みを強化すべく、OCVBも長野県観光機構とMOUを締結しております（2023年6月）。日本を代表する「山岳高原リゾートの信州」「海洋文化リゾートの沖縄」という対局にある強みや、それぞれの魅力ある環境・資源を活かし、両県の観光産業の振興と地域社会の発展を目指しております。

そのような中、「長野県観光商談会・教育旅行商談会in沖縄」が開催される運びとなりました。本商談会は、長野県観光機構が主催し、信州まつもと空港と那覇空港を結ぶチャーター便就航に併せ、沖縄からの誘客活動の強化を目的に開催されるイベントとなっております。今年で4回目の開催となります。商談会は長野県と沖縄県の旅行会社等が参加し活発な商談が行われる他、現地研修として、金武町でのカヌー体験・野鳥観察ツアーも実施予定となっております。

OCVBでは今後も地域連携強化を通じた観光振興に努めてまいります。

【内容】

催事名：長野県観光商談会・教育旅行商談会in沖縄

主催：一般社団法人長野県観光機構

全体スケジュール：

11月4日（月）14:40 那覇空港到着（JTA3223便）

11月5日（火）13:30 長野県観光商談会・教育旅行商談会in沖縄

11月6日（水）6:00 現地研修 金武町億首川早朝カヌー体験&探鳥池の野鳥観察ツアー

11月7日（木）13:10 那覇空港出発

【商談会】

11月5日（火）13:30 長野県観光商談会・教育旅行商談会in沖縄
オリオンホテル那覇 ガジュマル（地下1階）

13:30～14:20 挨拶・長野県の観光説明（教育旅行含む）

14:30～16:30 観光商談会・教育旅行商談会

長野側参加者：旅行会社、宿泊施設、観光協会等約20名（長野市、志賀高原、松本市、白馬町、安曇野市、信濃町、茅野市（蓼科・白樺湖）等（予定））

沖縄側参加者：県内旅行社等約30名

【その他】

- ・松本空港発商品は日本旅行長野支店とアルピコ長野トラベル2社で販売。ほぼ完売。
- ・11月4日（月）チャーター便機材：737-800(販売可能席数120席の制限あり)。集客117名（10月24日現在）。
- ・チャーター便到着に併せ、JTAとOCVBで空港歓迎式を実施予定。那覇空港 国内ターミナル1階 南側(JALグループ側)到着ロビー付近。歓迎横断幕での歓迎、ギブアウェイの配布。



昨年度商談会の様子

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 国内プロモーション課
担当：照屋、阿嘉
TEL:098-859-6125 FAX:098-859-6222
Mail:kokunai_rosen@ocvb.or.jp

欧米市場

アドベンチャートラベル（AT）に対する取り組み

パナマで開催されたAT World SummitでOkinawaをPR！

10月7日（月）～10日（木）にパナマにて開催された「Adventure Travel World Summit PANAMA（ATWS2024）」に参加しました。参加者との商談では「ブルーゾーンである沖縄を訪問したい」「日本でありながらも、本土とは違う独自の自然・文化・習慣を体験したい」などの声が多く寄せられました。沖縄の認知度・高水準のブランドイメージ確立・訪沖需要の高さを改めて実感し、これまでAT関連事業で取り組んできた積み重ねの成果を実感することができました。

今後は、AT需要層に適した『ガイド育成』や『アクティビティのプログラム化』など受入体制を十分に整備する必要性を感じました。



閉幕式 AdventureWeek2024OkinawaのPR

名称：Adventure Travel World Summit PANAMA（ATWS2024）
主催：Adventure Travel Trade Association（ATTA）
開催日時：令和6年10月7日（月）～令和6年10月10日（木）
開催場所：パナマコンベンションセンター
参加者数：64ヵ国750名（バイヤー100名、メディア50名、その他政府観光局等）

Adventure Weekが沖縄で開催されます！

日本政府観光局（JNTO）・Adventure Travel Trade Association（ATTA）が主催する「Adventure Week 2024 Okinawa」が沖縄で開催されます。欧米市場から旅行会社13名、メディア2名を対象に沖縄におけるアドベンチャートラベルを体験していただくほか、県内AT事業者との商談会も予定しております。OCVBはこの機会を通じて、沖縄が世界水準のアドベンチャートラベル地として認知されるようコンテンツの磨き上げ、受入体制の拡充促進を図ってまいります。

なお、今回沖縄が開催地として選定された背景には、これまで参加してきた北海道におけるAdventure Travel World Summit（ATWS）やPre Summit Adventure（PSA）での取り組みなどが高く評価されたことがあります。



沖縄県 PSAの様子

期間：令和6年11月9日（土）～11月16日（土）
場所：沖縄県本島内
主催：日本政府観光局（JNTO）、AdventureTravelTradeAssociation（ATTA）、沖縄県
参加者：ATTAが提案する欧米地域からの旅行会社・メディア 15名
内容：

- ・ATTAプロフェッショナル講師チームによる事前視察、ガイド研修、PR戦略含めた総合コンサル
- ・参加者による5泊6日程度のファムトリップ
- ・ファムトリップ終了後に参加者と地元観光団体との商談会実施
- ・ATTAのメディア・ストーリーテリングチームによるPR素材作成、情報発信

クルーズ概況

MSCベリッシマ那覇発着クルーズが再開！

国際クルーズ船「MSCベリッシマ」の那覇発着クルーズが11月より再開

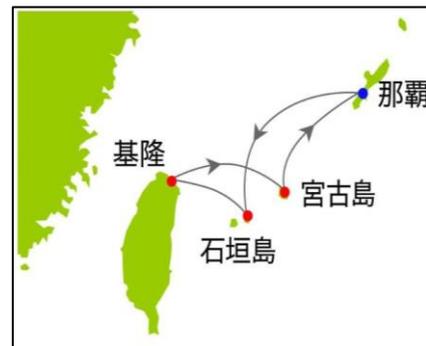


今年1月～3月にかけて運航された、MSCクルーズによるMSCベリッシマの那覇発着クルーズが、今年の11月より再開されます。
日本で就航するクルーズ船としては最大級のMSCベリッシマは、昨年、日本に初就航し、今年の1月～3月にかけて那覇港を発着地とするクルーズを合計12回実施しました。前回の好評を受け、今年2度目となる発着クルーズを実施します。

石垣島、宮古島、台湾（基隆）などを寄港する全11回の那覇発着クルーズを予定

発着クルーズのスケジュール

クルーズ日程	寄港地	発着港
11月28日～12月2日	那覇-基隆-宮古島-那覇(停泊)	第2CB
12月2～6日、12月6～10日、 12月10～14日、12月14～18日、 12月18～22日、12月26～30日、 12月30日～1月3日、1月3～7日	那覇-石垣-基隆-宮古島-那覇	第2CB
12月22～26日	那覇-石垣-基隆-那覇(停泊)	第2CB
1月7～12日	那覇-石垣-基隆(停泊)-宮古島-那覇	第2CB



参照：MSCクルーズWEB(<https://www.msccruises.com/int/japan/cruise-deals/winter-cruises>)

船舶情報 (MSCベリッシマ)

運航会社	MSCクルーズ
総トン数	171,598 トン
全長	315.8 メートル
最大乗客数	5,565人
キャビン	全2,217 室
他	レストラン：12か所 バーラウンジ：20か所 プール：4つ

前回実績 (MSCベリッシマ那覇発着クルーズ)

期間	2024年 1月 ～ 2024年 3月
クルーズ本数	14本 (うち12本が那覇発着クルーズ)
航程	那覇・石垣島・宮古島・台湾(基隆) ※クルーズによって異なる
港	第2クルーズバース
主な乗船客の国籍	日本・台湾
乗客数	約6万人 (日本4割、台湾5割、その他1割)

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 海外・MICE事業部 海外プロモーション課
担当：【総括】新本／【欧米市場】山城／【クルーズ】仲里
TEL:098-859-6127 FAX：098-859-6221 Mail：globalpr-m@ocvb.or.jp

MICE～海外からの誘致に向けた新たな取り組み等～

観光庁事業を活用して～ミーティング、インセンティブ旅行のキラコンテンツ創出

OCVBは民間事業者（幹事企業：(株)日旅産業、(株)DMC沖縄）、那覇市、浦添市、（一社）那覇市観光協会、（一社）浦添市観光協会と連携し、観光庁公募事業「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業」に採択され、現在プロジェクトが進行しています。12月には、琉球王朝の文化華やか2つのプログラムのモニターツアーが行われますので、ぜひご取材ください。

名称：「チームビルディングプログラムKUMIODORI-Ryukyu Opera Challenge！」
「世誇殿における現代版琉球王朝うとういむち」

主催：琉球王朝=古都の知財を活かすM.I.実証ワーキンググループ

開催日時：令和6年12月2日(月)～令和6年12月4日(水)

開催場所：12/2 国立劇場おきなわ 12/3 首里城世誇殿

※ 近づいた段階で別途取材依頼を行います。11月下旬予定

①12/2 「チームビルディングプログラムKUMIODORI-Ryukyu Opera Challenge！」

国立劇場おきなわを舞台に、重要無形文化財組踊を活用したオリジナルチームビルディングプログラムをDMC沖縄が開発。国立劇場おきなわ主催「組踊研修」終了者で構成した子の会（しーのかい）を組踊インストラクターとして迎え、組踊の成り立ちから基本所作の学び、本プログラム専用創作組踊の実演を通じ、個人の成長とチームで成し遂げる楽しさ、意義を体感させます。



<プログラム概要>

- ・稽古場にて 組踊成り立ちの解説、基本所作、謡いの稽古
- ・本舞台にて 実演 ←ビデオ収録、鑑賞

②12/3 「世誇殿における現代版琉球王朝うとういむち」

2019年の首里城火災を逃れた世誇殿で、伝統的な宮廷料理をベースにした現代版コース料理と古典芸能を提供するユニークバニユパーティを開発。

- ・現代版宮廷コース料理
(フードマイレージ削減の創作料理を開発)
- ・首里城の解説員による首里城復元現場の解説で、文化や技術の継承を通じたサステナビリティへの関心と気づきを得る環境を醸成。
- ・参加者が琉球王朝時代に没入できる仕掛けとして、繰り返し使用できるテーマパーティアイテムでの装飾や気軽に着用できる琉球衣装をドレスコードとして準備。



MICE～海外からの誘致に向けた新たな取り組み等～

【参考】 前回のモニターツアー

- 名称：①「空中散歩『ゆいレール』貸切レセプションと夜の栄町市場ぶらり飲み食いクエスト」
②「美しき布たちの物語に会う、首里の『琉球』体験プログラムモニターツアー」

日時：令和6年10月23日～25日

第1弾モニターツアーが開催され、参加者は下記4つを体験しました。

(那覇空港2F 特別室「でいご」でキックオフ) ①②のプログラム



(ゆいレール貸切レセプション) ①のプログラム

(栄町ぶらり「飲み食いクエスト」) ①のプログラム



(琉球「びんがた」体験) (琉装での識名園における「ぶくぶく茶体験」) ②のプログラム



■ 今後の活動予定およびトピック

【IBTM Worldへの参加】

日時：令和6年11月19日(火)～21日(木)

会場：スペイン・バルセロナ

目的：MICE見本市「IBTM World」は、ドイツで開催される「IMEX Frankfurt」と並ぶ欧州の二大MICE見本市である。IMEXに比べて、ミーティング (M) やインセンティブ (I) の誘致に強い特色がある。JNTO (日本政府観光局) の展開する日本ブースにおいて、沖縄をリゾート型MICEのデスティネーションとしてPRし認知度向上を図るため共同出展する。

【誘致決定したコンベンション案件】

	学会名	開催時期	参加者数	会場
1	飛行機シンポジウム	2025年10月14日-17日	600名	自治会館
2	ACMD2026	2026年10月25日-28日	200名	OCC
3	日本嚔下医学会総会・学術総会	2027年2月25日-27日	500名	OCC

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 MICE推進課

担当：誘致 (比嘉) 支援 (折原) 受入 (加加工)

TEL:098-859-6130

FAX : 098-859-6222

Mail:mice@ocvb.or.jp

OCVB創立70周年記念事業 沖縄観光未来ビジョンコンテスト

次世代と共に沖縄観光の未来を考える！

OCVBでは、沖縄県における観光業の重要性や観光の持つ可能性について理解を深め、観光業が魅力ある職業の1つであるとの認識を促すため、「未来の観光人材育成」として、平成18年年度から平成31年度にかけて、「沖縄県観光学習教材」を制作し、県内全小学校（4年生）に配布し、出前講座を実施するなど、積極的に子どもたちへの観光教育を行ってきました。

OCVB創立70周年を迎えた今年、未来の沖縄観光を支える学生に対し、実際に観光業界への就職を後押しし、プレゼンテーションや人前で発表する力を身につけてもらう機会を創出することを目的に、「**沖縄観光未来ビジョンコンテスト**」を開催いたします。

「**Love ,Okinawa 愛する島をもっと愛される島へ**」をテーマに、若い世代が心からいいと思う残したい沖縄をピッチ（短時間のプレゼンテーション）もしくはポスター（写真＋キャッチフレーズ）にて表現・発表いただきます。



令和6年度発刊
沖縄県観光学習教材（第15版）

名 称：沖縄観光未来ビジョンコンテスト

テ マ：Love ,Okinawa 愛される島をもっと愛される島へ

部 門：①ピッチ部門（3分間のプレゼンテーション）
②ポスター部門（写真とキャッチフレーズ）

対 象 者：県内大学・短期大学・専門学校・高等学校に通う学生および生徒

協賛企業：沖縄JTB株式会社、沖縄ツーリスト株式会社、東武トップツアーズ協定旅館ホテル
連盟沖縄支部、株式会社日本旅行、株式会社近畿日本ツーリスト沖縄（敬称略・順不同）

開催スケジュールについて

10月 5日(土) 沖縄観光大使による事前勉強交流会 ※実施済み
10月31日(木) 課題提出締切
11月下旬 1次審査結果発表
12月22日(日) **最終選考（発表会）**
会場：O2 OKINAWA OFFICE
（那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区
那覇オーパ3階）
時間：14時～16時30分



沖縄観光大使4名による事前勉強交流会
（10/5実施済み）

賞について

最優秀賞

ピッチ部門：テレビ番組「HYゴーゴーヤー」（沖縄テレビ放送）にてHYメンバーと「沖縄観光の未来」について対談

ポスター部門：作品（写真＋キャッチフレーズ）をポスターとして印刷し、沖縄観光のPRに活用
※このほか、入賞者には旅行券または商品券を贈呈いたします。

エントリー状況について

ピッチ部門：33人

ポスター部門：97人 合計130人

学校区分内訳：大学生13人、短期大学3人、専門学校52人、高校生62人

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課

担当：具志堅・比嘉・照喜名

TEL:098-859-6129 FAX:098-859-6221

観光客帰宅支援対策運用図上訓練について

令和6年度帰宅支援対策運用図上訓練を実施します。

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下OCVB）は、沖縄県より観光危機管理体制構築支援事業を受託しており、観光危機管理に関する図上訓練を毎年実施しています。

多くの観光客が訪れる沖縄県では、大災害発生時に住民のみならず旅行で訪れている多くの観光客が被災することとなります。電気・ガス・水道・通信などのライフラインの寸断、バス・モノレール・飛行機・船などの交通機関が動かなくなるなど、交通機関の回復まで長期間の帰宅困難者に発生することが想定されます。

各地域および観光業界は、帰宅困難者への対応を平時より意識し対策を行うことで、災害時の対応をスムーズにし、災害が発生してもなるべく早く観光客に帰宅していただくことで、安心してもらうことができます。

図上訓練当日は、沖縄県の観光部局が中心となって、市町村・観光協会・航空会社・モノレールやバス・タクシーなどの交通機関、ホテルや観光施設など県内の観光に携わっている多くの事業者が一丸となり、観光危機管理計画や各事業者のBCPに沿って、**観光客を安全・安心に帰宅させるために滞在場所の確保や情報発信、移動手段などを検証する**とともに、取組にあたっての課題を把握します。

観光立県沖縄として沖縄県・市町村・事業者が力を合わせて、1日でも早い復旧・復興を目指すことで持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

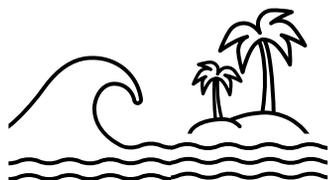
名 称：令和6年度観光客帰宅支援対策運用図上訓練

開催日時：令和6年度11月12日（火）10:00～16:00（開場9:30）

開催場所：沖縄空手会館 道場（豊見城市字豊見城854-1）

参加者数：240名 78団体（国・県・市町村・観光協会・航空会社・ホテル・観光施設など）

◆災害が発生したら…



空港や港が復旧する
までにどのぐらい？



その間、観光客はどこ
に避難するの？



不慣れな土地で
不安・・・



【昨年度の訓練の様子】

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

企画・施設事業部 企画課 担当：天久、貞熊、粟国

TEL:098-859-6126 Mail:kikikanri@ocvb.or.jp